

宮島 喬先生 研究業績目録

著書目録（共著，分担執筆，編者，共編著も含む）

- 1976 年，「社会意識研究の発展と現状」『社会学講座 12』東京大学出版会，163-201.
- 1977 年，『デュルケム社会理論の研究』東京大学出版会.
- 1977 年，「アノミーと自我概念の危機」『現代社会学 4（1）』講談社，68-81.
- 1978 年，『デュルケム道德教育論入門』（共著）有斐閣.
- 1978 年，「文化の概念」山根常男他編『入門社会学』有斐閣，29-43.
- 1978 年，「社会的人間」山根常男他編『入門社会学』有斐閣，44-58.
- 1979 年，『デュルケム自殺論』有斐閣.
- 1979 年，『現代フランスと社会学——社会構造と社会理論の変容』木鐸社.
- 1980 年，「社会意識の変化——プライヴァタイゼーションとの関連で」寿里茂編『変動の時代 5』朝倉書店，123-167.
- 1982 年，『みせかけの中流階級——都市サラリーマンの幸福幻想』（共著）有斐閣.
- 1983 年，『現代社会意識論』日本評論社.
- 1985 年，『先進社会のジレンマ——現代フランス社会の実像をもとめて』（共著）有斐閣.
- 1986 年，『社会学の歴史的展開』（ライブラリ社会学 10）（編著）サイエンス社.
- 1986 年，「移民労働者問題と西欧『国民国家』の変容——供給国と受入国の関係をめぐって」庄司興吉編『世界社会の構造と動態』法政大学出版局，113-146.
- 1987 年，『デュルケム理論と現代』東京大学出版会.
- 1987 年，「現代日本の文化——個人主義の問題をめぐって」蓮見音彦他編『変動する日本の社会』東京大学出版会，221-244.
- 1987 年，『文化と現代社会』（共編著）東京大学出版会.
- 1988 年，『現代ヨーロッパの地域と国家——変容する『中心—周辺』問題への視角』（共編）有信堂高文社.
- 1989 年，『デュルケム『自殺論』を読む』岩波書店.
- 1989 年，『外国人労働者迎え入れの論理——先進社会のジレンマのなかで』明石書店.
- 1990 年，「ネオ・ナショナリズムと対外意識」古城利明編『世界社会のイメージと現実』東京大学出版会，219-236.
- 1991 年，『統合と分化のなかのヨーロッパ』（共編著）有信堂高文社.
- 1991 年，『文化と社会——差異化・構造化・再生産』（共編著）有信堂高文社.
- 1992 年，『ひとつのヨーロッパ　いくつものヨーロッパ——周辺の視点から』東京大学出版会.
- 1993 年，『文化と社会』（共編著）放送大学教育振興会.
- 1993 年，『フランスの社会——変革を問われる文化の伝統』（共編著）早稲田大学出版部.
- 1993 年，『外国人労働者と日本社会』明石書店.
- 1994 年，『難民』（共編著）東京大学出版会.

- 1994 年、『文化的再生産の社会学——ブルデュー理論からの展開』藤原書店。
- 1995 年、『ヨーロッパ統合と文化・民族問題——ポスト国民国家時代の可能性を問う』（共編著）人文書院。
- 1995 年、『現代社会学』（編著）有斐閣。
- 1995 年、『文化の社会学——実践と再生産のメカニズム』（編著）有信堂高文社。
- 1996 年、『20 世紀社会学理論の検証』（共編著）有信堂高文社。
- 1996 年、「ヨーロッパの統合と分離」井上俊他編『民族・国家・エスニシティ』岩波書店、193-210。
- 1996 年『外国人労働者から市民へ——地域社会の視点と課題から』（共編著）有斐閣。
- 1997 年、「ブルデューの社会学理論——不平等問題への社会学的接近」井上俊他編『現代社会学の理論と方法』岩波書店、201-215。
- 1997 年、『ヨーロッパ社会の試練——統合のなかの民族・地域問題』東京大学出版会。
- 1998 年、『現代ヨーロッパ社会論——統合のなかの変容と葛藤』（編著）人文書院。
- 1999 年、『文化と不平等——社会学的アプローチ』有斐閣。
- 1999 年、「文化とスポーツの間」中村敏雄編『境界を越えるスポーツ』創文企画。
- 2000 年、『外国人市民と政治参加』（編著）有信堂高文社。
- 2000 年、『文化』（講座社会学 7）（編著）東京大学出版会。
- 2001 年、『外国人と政治参加』（編著）有信堂。
- 2001 年、『ヨーロッパ統合のゆくえ——民族・地域・国家』（共編著）人文書院。
- 2002 年、『国際社会 1 国際化する日本社会』（共編著）東大出版会。
- 2002 年、『国際社会 2 変容する日本社会と文化』（共編著）東大出版会。
- 2002 年、『国際社会 4 マイノリティと社会構造』（共編著）東大出版会。
- 2003 年、『岩波小辞典 社会学』（編著）岩波書店。
- 2003 年、『共に生きられる日本へ——外国人施策とその課題』有斐閣。
- 2003 年、『文化の権力——反射するブルデュー』（共編著）藤原書店。
- 2003 年、『現代日本人の生のゆくえ——つながりと自律』（共編著）藤原書店。
- 2003 年、『海外における日本人、日本のなかの外国人——グローバルな移民流動とエスノスケープ』（共編著）昭和堂。
- 2004 年、『ヨーロッパ市民の誕生——開かれたシティズンシップへ』岩波書店。
- 2005 年、『外国人の子どもと日本の教育——不就学問題と多文化共生の課題』（共編著）東京大学出版会。

翻訳文献目録

- エミール・デュルケム、1968 年、『自殺論（世界の名著 47）』中央公論社。
- レイモン・ブードン、1970 年、『社会学の方法』白水社。
- エミール・デュルケム、1974 年、『社会学講義——習俗と法の物理学』（共訳）みすず書房。
- モーリス・デュヴェルジェ、1975 年、『ヤヌス——西欧の二つの顔』木鐸社。
- エミール・デュルケム、1978 年、『社会学的方法の規準』岩波文庫。
- アラン・トゥレーヌ、1978 年、「現代史のなかの『五月革命』——十年後の検証」『世界』岩波書店、392：249-256。
- アラン・トゥレーヌ他、1984 年、『現代国家と地域闘争——フランスとオクシタニー』新泉社。

- レイモン・アロン, 1984 年, 『社会学的思考の流れ』(共訳) 法政大学出版局.
- エミール・デュルケム, 1985 年, 『自殺論』中央公論社.
- アンソニー・ギデンズ, 1986 年, 『社会理論の現代像——デュルケム、ウェーバー、解釈学、エスノメソドロジー』(共訳) みすず書房.
- ジャンフランコ・ボッジ, 1986 年, 『現代社会理論の源流——トクヴィル、マルクス、デュルケム』(共訳) 岩波書店.
- ピエール・ブルデュー、ジャン＝クロード・パスロン, 1991 年, 『再生産——教育・社会・文化』藤原書店.
- ディートリッヒ・トレンハルト編著, 1994 年, 『新しい移民大陸ヨーロッパ——比較のなかの西欧諸国・外国人労働者と移民政策』(共訳) 明石書店.
- レイモン・ブードン他編, 1997 年, 『ラールス社会学事典』(共訳) 弘文堂.
- マルコ・マルティニエッロ, 2002 年, 『エスニシティの社会学』白水社.
- パトリック・シャンパーニュ, 2004 年, 『世論をつくる——象徴闘争と民主主義』藤原書店.
- パトリック・シャンパーニュ, 2005 年, 「編集長インタビュー ブルデューを継承する」『環』藤原書店, 18: 314-323.

研究論文目録

- 1966 年, 「フランスの社会学と心理学における人間の問題——デュルケム学派とベルグソンを中心に」『社会学評論』日本社会学会, 16 (4): 55-76.
- 1968 年, 「仮借なき合理主義——青年労働者意識の特質」『月刊労働問題』日本評論社, 117: 42-51.
- 1968 年, 「現代社会とアノミー——一序論的考察」『社会学評論』日本社会学会, 19 (2): 42-59.
- 1969 年, 「価値意識における世代的断層」『月刊労働問題』日本評論社, 140: 76-80.
- 1970 年, 「現代社会学と社会的現実——大学問題によせて」(共著)『社会学評論』日本社会学会, 20 (3): 73-84.
- 1971 年, 「アノミー論への現代的視角——デュルケム理論と現代」『思想』岩波書店, 547: 21-37.
- 1971 年, 「社会学の実証主義の思想構造——E・デュルケムの場合」『思想』岩波書店, 565: 22-39.
- 1971 年, 「脱政党化の政治意識」『別冊経済評論』日本評論社, 6: 97-106.
- 1973 年, 「フランス労働者と社会主義への展望——共同政府綱領を中心に」『月刊労働問題』日本評論社, 181: 86-93.
- 1973 年, 「高度産業国家に取り残された者——現代フランスの内側」『世界』岩波書店, 331: 199-207.
- 1974 年, 「フランス社会学の現代的動向——とくに 68 年以後に焦点を合せて」『思想』岩波書店, 596: 138-150.
- 1974 年, 「第 24 回国際社会学大会に出席して」『社会学評論』日本社会学会, 25 (3): 130-135.
- 1974 年, 「デュルケム理論における個人主義の位置とその意義」『社会学評論』日本社会学会, 25 (3): 2-16.
- 1975 年, 「デュルケムの政治理論——民主主義と中間集団 (上)」『思想』岩波書店, 614: 1094-1107.
- 1975 年, 「デュルケムの政治理論——民主主義と中間集団 (下)」『思想』岩波書店, 615: 1289-1304.
- 1975 年, 「現代フランスにおける参加と管理の思想」『現代と思想』青木書店, 21: 220-235.
- 1975 年, 「五月革命から自主管理へ」『世界政経』世界政治経済研究所, 4: 126-135.

- 1978 年, 「『新しい階層』とフランス左翼——政治革新への底流」『世界』岩波書店, 387:166-180.
- 1978 年, 「帰趨を決した『新中間層』——脱政党層が増大する傾向に (フランス総選挙〈徹底研究〉)」『公明』公明党機関紙局, 195:49-57.
- 1978 年, 「デュルケムにおける社会的なものと経済的なもの」『社会学評論』日本社会学会, 29 (2):57-67.
- 1979 年, 「フランス社会学派と集合意識論——歴史における『心性』の問題にふれて」『思想』岩波書店, 663:169-187.
- 1981 年, 「デュルケム社会理論における宗教の位置」『思想』岩波書店, 679:19-37.
- 1982 年, 「フランス経済の再生めざして——軌道に乗るか、ミッテランの国有化政策」『公明』公明党機関紙局, 244:78-83.
- 1982 年, 「サン＝シモン産業社会論における社会学的視座」『社会学史研究』日本社会学史学会, 4:18-37.
- 1983, Evolution du mode de vie et des attitudes à l'égard du travail au Japon, dans *Sciences Sociales du Japon Contemporain*, Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales, 4:6-27.
- 1984 年, 「現代国家と『相違への権利』——フランスにおける文化的少数者と移民の問題」『世界』岩波書店, 460:212-229.
- 1984 年, 「私化へのアプローチと若干の論点——社会意識論の一課題」『現代社会学』現代社会学編集委員会, 18:129-142.
- 1985 年, 「『近代化』の逆説をどう越えるか——中間点に立つミッテラン政権」『世界』岩波書店, 471:229-242.
- 1985 年, 「功利主義批判と社会学的思考の展開——デュルケムとウェーバーを通して」『思想』岩波書店, 727:58-81.
- 1986 年, 「平等としての相違——一先進国における言語問題の社会学的含意」『現代社会学』現代社会学編集委員会, 22:108-131.
- 1986 年, 「ハビトゥスとしての文化——文化社会学序説」『現代思想』青土社, 14 (1):52-59.
- 1986 年, 「ハビトゥスとしての文化——文化社会学序説」『現代思想』青土社, 14 (2):243-250.
- 1986 年, 「ハビトゥスとしての文化——文化社会学序説」『現代思想』青土社, 14 (3):256-263.
- 1986 年, 「ハビトゥスとしての文化——文化社会学序説」『現代思想』青土社, 14 (4):232-242.
- 1986 年, 「学校と平等と——不平等問題の社会学的考察」『日本の科学者』日本科学者会議, 21 (11):614-619.
- 1987 年, 「市民のニーズの変化と文化の行政の課題」『都市問題研究』都市問題研究会, 39 (2):3-14.
- 1988 年, 「ヨーロッパにおける移民労働者問題の変容と現状——フランス社会とマグレブ移民の問題を中心に」『歴史学研究』歴史学研究会, 581:3-15, 26.
- 1988 年, 「都市社会と外国人労働者問題」『都市問題』東京市政調査会, 79 (9):3-17.
- 1988 年, 「外国人労働者問題の現状と課題」『部落解放』大阪部落解放研究所, 286:172-178.
- 1988 年, 「進行しつつある事態のなかで——外国人労働者問題をどう考えるか」『世界』岩波書店, 522:273-287.
- 1988 年, 「文化の階層性と文化的再生産」(共著)『東京大学教育学部紀要』東京大学教育学部, 27:51-89.

- 1989 年, 「試される現実主義的理想主義——外国人労働者受け入れと国際化」『窓』窓社, 1: 113-120.
- 1990 年, 「ブルデュー社会学の論理——社会的決定、自律性、身体などをめぐって」『現代思想』青土社, 18 (3): 220-229.
- 1991 年, 「選別とハビトゥスの社会学——ブルデュー社会学への接近の一つの試み」『思想』岩波書店, 804: 50-64.
- 1991 年, 「どこへ行くのか、外国人労働者受け入れ——見失われる議論の正道」『世界』岩波書店, 555: 279-289.
- 1991 年, 「国境なき欧州と新しい市民権——誕生するか、ヨーロッパ市民」『公明』公明党機関紙局, 352: 114-122.
- 1992 年, 「煽られる不安と求められる理性の政治——『外国人問題』とヨーロッパ・デモクラシー」『世界』岩波書店, 572: 77-87.
- 1992 年, 「外国人労働者受け入れ国日本の矛盾と今後——現状維持の問題点」(外国人労働者問題シンポジウム)『専修大学社会科学研究所月報』専修大学社会科学研究所, 350: 20-28.
- 1992 年, 「教育社会学への期待——新しいパラダイムと課題」『教育社会学研究』教育社会学会, 50: 202-206.
- 1993 年, 「文化の構造と再生産に関する実証的研究」(共著)『東京大学教育学部紀要』東京大学教育学部, 32: 53-87.
- 1993 年, 「いま、はじまった外国人の子どもの教育の課題——なにが問題なのか」『教育評論』日本教職員組合情宣局, 559: 18-23.
- 1993 年, 「自治体行政と外国人」(共著)『都市問題研究』都市問題研究会, 45 (5): 66-77.
- 1993 年, 「階層と外国人」『思想の科学 第8次』思想の科学社, 2: 59-64.
- 1994 年, 「『相違への権利』から『統合』へ、そしてその後——フランス左翼の10年の残したもの」『世界』岩波書店, 597: 100-112.
- 1995 年, 「ヨーロッパ統合と民族の論理」『言語文化研究』立命館大学国際言語文化研究所, 6巻5・6: 1-18.
- 1996 年, 「教養の変質」『文学』岩波書店, 7 (4): 36-38.
- 1996 年, 「コルシカとアルザス——ヨーロッパ統合下の民族地域の統合と分化」『思想』岩波書店, 863: 48-65.
- 1996 年, 「行き悩む多文化化——滞日外国人の文化は権利をえたか」『世界』岩波書店, 619: 179-188.
- 1996 年, 「文化と不平等——序論的考察」『応用社会学研究』立教大学社会学部, 38: 3-11.
- 1997 年, 「移民労働者子弟における剥奪と戦略——言語、教育、統合をめぐる言説と実態」『Sociology Today』お茶の水社会学研究会, 8: 18-29.
- 1997, "Studies in Western Europe: on Minorities, Immigrants and Change," *International Journal of Japanese Sociology* (Japan Sociological Society), 6: 23-29.
- 1998 年, 「フランス政府給費留学生制度から学ぶもの」『大学時報』日本私立大学連盟, 47 (263): 63-67.
- 1998 年, 「資本としての家族」『比較文明』比較文明学会, 14: 86-98.
- 1999 年, 「外国人住民のネットワークから見た市政参加の可能性——川崎市在住外国人への調査を踏まえて」(共著)『都市問題』東京市政調査会, 90 (8): 89-100.

- 1999 年, 「フランス移民研究における“エスニシティ”——90 年代の統合の課題との関連で」『応用社会学研究』立教大学社会学部, 41: 1-11.
- 2000 年, 「在日フィリピン人女性の結婚・家族問題——カウンセリングの事例から」(共著)『応用社会学研究』立教大学社会学部, 42: 1-14.
- 2000 年, 「グローバル化のもとのヨーロッパとアジア」(立教大学社会学部設立 40 周年記念シンポジウム「多文化化の下におけるグローバルスタンダードの行方」)『応用社会学研究』立教大学社会学部, 42: 53-57.
- 2001 年, 「ブルデュー理論と社会的周辺層への視点」『現代思想』青土社, 29 (2): 76-85.
- 2001 年, 「『フランス的統合』の観念とその諸前提——移民の社会的統合をめぐる言説とその解説」『社会学研究科年報』立教大学大学院社会学研究科, 8: 7-20.
- 2002 年, 「日本の『移民』はどう向きあうべき」『環』藤原書店, 9: 215-220.
- 2002 年, 「ブルデュー社会学の提起したもの」『UP』東京大学出版会, 31 (4): 13-18.
- 2002 年, 「『新しい市民権』と地域市民権——フランスの移民新時代の国民化と市民化」『応用社会学研究』立教大学社会学部, 44: 1-13.
- 2002 年, 「外国籍、ニューカマーの教育にみる『マイノリティ』の諸相」『アソシエ』お茶の水書房, 8: 112-121.
- 2003 年, 「日本社会の不平等の照射——ブルデューのもたらしたもの」『環』藤原書店, 12: 374-381.
- 2003 年, 「座談会 国際社会をどうとらえるか——シリーズ『国際社会』完結によせて」(共著)『UP』東京大学出版会, 32 (1): 1-19.
- 2004, Xenophobia in Japan: Historical Context and New Challenges, in *Studies on Human Rights*, UNESCO, 87-110.
- 2004 年, 「ヨーロッパの変化の意味 (1) 『移民社会』への転形が始まって」『書斎の窓』有斐閣, 534: 28-32.
- 2004 年, 「ヨーロッパの変化の意味 (2) マルティエスニック化と移民の毀誉褒貶」『書斎の窓』有斐閣, 535: 19-23.
- 2004 年, 「ヨーロッパの変化の意味 (3) ドイツの迎えた二つの転機」『書斎の窓』有斐閣, 536: 23-26.
- 2004 年, 「ヨーロッパの変化の意味 (4) ヨーロッパ市民権は擬制から抜けだせるか」『書斎の窓』有斐閣, 537: 23-27.
- 2004 年, 「ヨーロッパの変化の意味 (5 完) EU 拡大は未来を開くか」『書斎の窓』有斐閣, 538: 36-40.
- 2004 年, 「シティズンシップにおけるジェンダーと平等——フランス政治とパリテ (男女同数制) をめぐって」『応用社会学研究』立教大学社会学部, 46: 7-16.
- 2005 年, 「巻頭エッセイ ヨーロッパ市民の誕生——『開かれたシティズンシップ』に学ぶ」『遠近』国際交流基金, 8: 12-17.
- 2005 年, 「ニューカマー外国人の教育機会と高校進学: 東海地方 A 中学校の『外国人指導』の観察にもとづいて」(共著)『応用社会学研究』立教大学社会学部, 47: 1-12.
- 2005 年, 「政治と『世論』の社会学への覚書——ブルデュー、シャンパーニュの理論視角から」『社会学研究科年報』立教大学大学院社会学研究科, 12: 25-34.

書評

- 1967 年, 「辻村明・塩原勉・見田宗介著『変動期における社会心理』』『社会学評論』日本社会学会, 18 (3): 87-92.
- 1974 年, 「井上俊著『死にがいの喪失』』『社会学評論』日本社会学会, 25 (2): 93-96.
- 1974 年, 「現代社会と人間主体の構造——田中義久著『人間的自然と社会構造——文化社会学序説』』『思想』岩波書店, 604: 145-154.
- 1976 年, 「加茂利男著『現代政治の思想像』』『現代と思想』青木書店, 24: 173-179.
- 1981 年, 「中久郎著『デュルケームの社会理論』』『社会学評論』日本社会学会, 31 (4): 119-121.
- 1987 年, 「二宮宏之著『全体を見る目と歴史家たち』』『歴史学研究』歴史学研究会, 571: 60-63.
- 2001 年, 「今田高俊編『社会階層のポストモダン (日本の階層システム 5)』』『理論と方法』数理社会学会, 16 (2): 275-278.

討論

- 1987 年, 「外国人労働者と日本の対応』』『法律時報』日本評論社, 59 (7): 6-23.
- 2004 年, 「対談『移民国』に向けての今日的課題とは何か」(パトリック・ヴェイユとの対談)『世界』岩波書店, 727: 217-224.

研究助成

- 2000 年, 『ヨーロッパ統合下の西欧諸国の移民と移民政策の調査研究』科学研究費補助金 (国際学術研究) 研究成果報告書, 平成 10 年度～平成 11 年度.
- 2000 年, 『外国籍住民と社会的・文化的受け入れ施策』科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 研究成果報告書, 平成 9 年度～平成 11 年度.
- 2004 年, 『外国人児童生徒の不就学問題の社会学的研究』科学研究費補助金 (基盤研究) 研究成果報告書, 平成 13 年度～平成 15 年度.

共同調査報告 (責任編集)

- 1993 年, 『川崎市外国籍市民意識実態調査報告書』川崎市市民局国際室.
- 1995 年, 『川崎市外国籍市民意識実態調査報告書——事例面接調査編』川崎市市民局国際室.
- 1996 年, 『外国人の子どもたちとともに——在日外国人児童・生徒教育状況調査報告書』神奈川県教育文化研究所.
- 1998 年, 『川崎市外国人市民の地域生活と市政参加——調査報告』地域の国際化研究会.
- 2001 年, 『学習と進路の保障をもとめて』神奈川県教育文化研究所外国籍生徒の学習と進路調査部.
- 2003 年, 『「多文化」の中での就学・学習権の保障』教育総研・多文化共生教育研究委員会.